

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2017-522153 (P2017-522153A)

【公表日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2017-030

【出願番号】特願 2017-519466 (P2017-519466)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/158 (2006.01)

A 6 1 L 31/16 (2006.01)

A 6 1 L 31/08 (2006.01)

A 6 1 B 5/1473 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/158 5 0 0

A 6 1 L 31/16

A 6 1 L 31/08

A 6 1 B 5/14 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 19 日 (2019.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

針およびスタイレットを含む医療器具と、

少なくとも一つの生体物質を検出する前記医療器具上のコーティングと、

表示システムと、を有し、

前記表示システムは、前記コーティングが前記少なくとも一つの生体物質を検出した後に、前記少なくとも一つの生体物質の存在を示し、かつ、

前記表示システムは発光機構を含み、前記コーティングが前記少なくとも一つの生体物質と接触すると、該発光機構が起動される

ことを特徴とする、バイオマーカー検出装置。

【請求項 2】

前記コーティングは、前記スタイレット上に位置し、

前記表示システムは、前記スタイレットの第 2 の端部に位置し、前記医療器具が患者に挿入されたときに前記バイオマーカー検出装置の使用が目視することができる

ことを特徴とする、請求項 1 に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項 3】

前記コーティングは、前記スタイレットの第 1 の端部の一部に限定される

ことを特徴とする、請求項 2 に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項 4】

前記コーティングは、前記針の第 1 の端部に位置し、

前記表示システムは、前記針の第 2 の端部に位置する

ことを特徴とする、請求項 1 に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項 5】

前記表示システムのうちの少なくとも一部分は、体内に挿入される器具の第 2 の部分に

位置する

ことを特徴とする、請求項1に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項6】

カテーテルと閉塞具とを有する医療器具と、コーティングと、表示システムと、を含み
、

前記コーティングは、前記カテーテルの第1の端部に位置し、かつ、少なくとも一つの
生体物質を検出することができ、

前記表示システムは、

前記カテーテルの第2の端部に位置し、かつ、

前記コーティングが前記少なくとも一つの生体物質を検出した後に、前記少なくとも
一つの生体物質の存在を示し、かつ、

前記表示システムは、前記コーティングが前記少なくとも一つの生体物質と接触すると
、起動される発光機構である

ことを特徴とするバイオマーカー検出装置。

【請求項7】

前記表示システムは、前記少なくとも一つの生体物質の存在を視覚的に示す
ことを特徴とする、請求項1に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項8】

前記表示システムは、前記少なくとも一つの生体物質の存在を聴覚的に示す
ことを特徴とする、請求項1に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項9】

前記表示システムは、前記検出装置が検出した生体物質の種類を示す
ことを特徴とする、請求項1に記載のバイオマーカー検出装置。

【請求項10】

針およびスタイレットを有する医療器具と、コーティングと、表示システムと、を含み
、

前記コーティングは、

前記針の第1の端部に位置し、かつ、

少なくとも一つの生体物質を検出することができ、

前記表示システムは、

前記針の第2の端部に位置し、

前記コーティングが前記少なくとも一つの生体物質を検出した後に、前記少なくとも
一つの生体物質の存在を示すことができ、かつ、

前記表示システムは、前記コーティングが前記少なくとも一つの生体物質と接触すると
、起動される発光機構である

ことを特徴とする、バイオマーカー検出装置。